

医療法人財団岩井医療財団 岩井整形外科内科病院

精度の高い診断と豊富な術式で 腰痛を改善し、早期の社会復帰を支援

患者に合わせた 多彩な選択肢を

岩井整形外科内科病院は椎間板ヘルニアひとつとつてみても多くの選択肢を持ち、患者一人ひとりに合った方法を採用している。1つの疾患に対していくつもの方法を用いる同院では、診断においてもさまざまな視点を持ち込むことで、見落としや誤りのリスクを軽

減することに成功している。MED(内視鏡下椎間板切

除術)は傷口が小さくて済み、術後の痛みが少ない低侵襲手術である。感染症のリスクが小さく、回復も早い。加

えて、PELD(経皮的内視鏡下椎間板切除術)になると、8mmの微細な内視鏡を用い、さらに侵襲を最小にするこ

とができる。どちらを採用するかは患者の痛みへの耐性、ヘルニアの位置等を考慮して最適な方法を選ぶ。PLD(経皮的レーザー椎間板減圧術)には切らずに行えるというメリットがある。このほか、同院がいち早く取り入れたenSpire(経皮的椎間板粉

砕切除術)といった方法もある(解説参照)。

的確な診断と 素早い手術

同院ではこれらを的確に検査した上で行っている。検査ではMRIで撮影するほか、必要に応じて血液検査やSNAPといった電気生理

学的な検査を用いる。外側ヘルニアや椎管狭窄といった脊柱管の外にあり、見逃されがちな病気の診断においても高い精度を誇っている。検査に十分に時間をかける一方で、手術自体に要する時間が非常に短いのも同院の特徴だ。豊富な手術件数を通じて判断力が磨かれていくのが大きい。

「神経や軟組織の見極めが不十分だと手術時間が長くなる傾向があります。当院では3000件以上の内視鏡手術(2001年12月〜11年12月)の実績のもと、手術をどのように進めていくかのオリエンテーションが早い



院長 稲波 弘彦

いななみ・ひろひこ ● 東京大学医学部医学科卒業後、同大学医学部整形外科教室入局。都立墨東病院、三井記念病院、虎の門病院等に出向。1990年より岩井整形外科内科病院院長に就任。日本整形外科学会認定整形外科専門医

● 内視鏡手術 ● 微小内視鏡手術

手術件数(2011年1月~12月)	
PLDD(レーザーによる経皮的髄核減圧術)	18
enSpire(経皮的椎間板粉碎切除術)	20
● MED(内視鏡による椎間板ヘルニア手術)	570
● MECD(頸椎ヘルニア手術)	3
● PELD(微小内視鏡による椎間板ヘルニア手術)	42
● MEL(内視鏡による腰部脊柱管狭窄症手術)	206
● MECL(頸椎椎弓切除術)	115
● 脊椎固定	198
脊椎(その他)	54
脊椎以外	193
合計	1419

め、結果的に時間が大幅に短いのだと思えます」と稲波弘彦院長は話す。もちろん手術だけでなく保存治療も重視し、近年は薬、運動、鍼灸の比較データ収集を開始するなど、患者の選択の幅をさらに広げるために工夫を重ねている。

取材/斉藤雅幸

INFORMATION

診療科目: 整形外科、リウマチ科、形成外科、放射線科、麻酔科(坂田夏美、村上優子)、リハビリテーション科、内科、消化器内科、循環器内科

診療時間: 9:00~11:00 / 14:00~16:30

休診日: 日・祝

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩 8-17-2

TEL.03-5694-6211 FAX.03-5694-6663

http://www.iwai.com/

解説 enSpire(経皮的椎間板粉碎切除術)とは?

極細の針状の器具を用いて髄核の一部を削って吸引します。これによって髄核圧を低下させ、髄核を引っ込みます。減圧を狙いとしている点ではPLDDに似ていますが、レーザーを用いるのではなく、針に付いたワイヤーを回転させて“かき出す”ところに特徴があります。内視鏡手術と比べ複雑さが少なく、手術は日帰り、または1泊2日で行うことができ、早期の社会復帰も可能です。



自由診療: PLDDは約35万円、enSpireは約60万円